

研究所だより 11月号

くろしお

発行:黒潮町教育研究所

幡多郡黒潮町佐賀1092番地1(黒潮町教育委員会内)

TEL 0880-55-3190 Fax 0880-55-3850

Email: kuroshio-l@kochinet.ed.jp

URL: http://www.kochinet.ed.jp/kuroshio-l/



木々も色づき秋も深まってきました。
運動会・陸上記録会・作品展・音楽祭…。2学期の大きな行事がほぼ終わり、
学習のしめくくりの時期になりました。
これからどんどん寒さが厳しくなり、今度は風邪・インフルエンザの心配が出て
きます。児童生徒も先生方も元気に2学期が終えられますように…。



全国学力・学習状況調査の活用について

中学校で一番正答率の低かった問題

中学校数学編

- ⑥ 1辺に n 個ずつ基石を並べて正三角形をつくり、基石全部の個数を求めます。
(3) 図2のようなくみ方をすると、基石全部の個数は、 $3n-3$ という式で求めることができます。基石全部の個数を求める式が $3n-3$ になる理由は、次のようになります。

説明 正三角形の辺ごとにすべての基石を囲んでいるので、1つのままとりの個数は n 個である。同じままとりが3つあるので、このままとりで数えた基石の個数は $3n$ 個になる。この時、各頂点の基石を2回数えているので、基石全部の個数は $3n$ 個より3個少ない。

したがって、基石全部の個数を求める式は、 $3n-3$ になる。

図3のように囲み方を変えてみると、基石全部の個数は $3(n-2)+3$ という式で求めることができます。基石全部の個数が $3(n-2)+3$ になる理由について、下の説明を完成させなさい。(図省略)

説明

したがって、基石全部の個数を求める式は $3(n-2)+3$ になる。

正答の条件 (a)(b)(c)について記述しているもの、または(b)について記述しているもの。

- (a) 頂点にある3個以外の基石を、辺ごとに囲んでいること。
- (b) 1へんには $(n-2)$ 個あり、そのままとりが3つあること。
- (c) 基石の個数は、3つのままとりと頂点の基石の総数の和であること。
- (d) $3(n-2)+3$ と同値な式を示し、その式で基石全部の個数を求められることがすでに問題文で説明されていること。

- ▲約半数の生徒が無回答。
- ▲記述の問題は中学校でも大きな課題
- ▲記述問題は初めから諦めている人も多いのでは…

スペースの都合で、細かい数字を出すことができませんでした。
黒潮町の資料は教育研究所にあります。

設問の趣旨 事象を数学的に表現したり、数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることを通して、事象が成り立つ理由を筋道立てて説明することができるかどうかを見る。

この力をつけるためには、数学的な表現の仕方を身につけること、文字を用いることの必要性和意味を理解することができなければなりません。中学校1年生の文字式の問題の理解、小学校からの考えを筋道立てて説明する力が必要なが見えてきます。あとは、記述問題への苦手意識を取り除くことでしょうか…。今後の取り組むべき方向が見えてきますね。



黒潮町 力だめしテスト 12月中実施

漢字の採点は、「漢字指導の手引き」で許容の書き方を確認してください。

- ◇11月中旬に各校に配布
- ◇12月2日から12月20日までに各校で実施
- ◇12月27日(金)までに各校で採点し、答案用紙を教育研究所に提出

間違いはなおさずそのまま提出してください。



研修報告

「発達障害の児童の現状及び適切な支援の理解と具体的なアプローチについて」

高知大学医学部小児思春期医学
教授 脇口 明子

○不登校の多い少ないと特別支援教育の意識の高さには相関関係がある

◇発達障害

- ・広汎性発達障害
- ・学習障害
- ・ADHD
- ・合併・二次障害

◎何か変？が重要

- ◆雰囲気・アイコンタクト・顔の表情
- ◆行動の異常：不注意、衝動性、マイペース、決まった友達、空気が読めない、気持ちの表現ができない、語用障害、臨機応変が苦手、こだわり、クルクル回るなどの癖
- ◆学習問題：読み書きが苦手（文章題が苦手、字や絵が下手）、聞く・話す・計算・推論が苦手
- ◆不器用
- ◆感覚の異常（靴や靴下を脱いでいる子・大きな音に弱い）

◇発達障害の簡単な見つけ方

- ◎発達障害特有の行動・特性を見逃さない
 - ・靴や靴下をはかない子
- ◎思い込みで見抜けなくなる場合も…

◇発達障害の子への支援

- 正しい理解と適切なチームアプローチ
- 特別支援教育
- 環境整備
- 構造化・具体的に示す
- 認知行動療法とSST
- いじめを防ぐ・トラウマ防止・二次障害の防止
- 集団の中で「恥ずかしい」経験をしないように配慮
- 自分からSOSを出せるように（安全基地を学校に）
- 「できる」気持ちを持たせる
- 学習への対応：板書計画、視覚認知・計算・短期記憶への手立て

○児童生徒の弱点は「努力で報われるもの」ではなく、「その子にあった学び方（手立て）を駆使することで解決

教育研究所に実践例・指導資料等があります。
どうぞお声をおかけください。



☆思い込みの判断は危険です。まずは相談を…

黒潮町の教育相談窓口

黒潮町では

〔 スクールカウンセラー
スクールソーシャルワーカー
教育相談員 〕

が相談を受けています。

不登校や問題行動の背景にある児童生徒の家庭、友人関係、地域、学校の環境に、社会福祉等の専門的な知識と技術を用いて働きかけ、児童生徒およびその保護者に対して必要な支援・相談を行います。

黒潮町教育委員会

黒潮町佐賀1092番地1

担当：研修指導員 清水 Tel 0880-55-3190

黒潮町教育研究所

黒潮町佐賀1092番地1

担当：研究員 中屋 Tel 0880-55-3190

SSW 松田

Tel 080-2980-9903



個別の相談のほか
専門機関の相談員等による
教育相談員派遣事業
ワンステップ教育相談会
なども行っています。

外部の教育相談機関

- ＊中村特別支援学校 地域支援部
- ＊児童相談所
- ＊医療機関



児童生徒の発達や心の
問題に対して、専門的
な立場でアドバイスを
いただけます。